

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)博多駅南ビル建設計画	階数	地上9階
建設地	福岡市博多区博多駅南1丁目56番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	185 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019/5/末 予定	評価の実施日	2017年11月1日
敷地面積	1,835 m ²	作成者	中村佐和子
建築面積	1,281 m ²	確認日	2017年11月6日
延床面積	10,000 m ²	確認者	大森正俊



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 83% (153 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 83% (153 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 83% (153 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

音環境	3.6
温熱環境	3.0
光・視環境	3.1
空気質環境	4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

機能性	3.5
耐用性	3.5
対応性	4.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.9

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

建物外皮の	4.8
自然エネ	3.0
設備システ	3.1
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

水資源	3.5
非再生材料の	3.8
汚染物質	3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

地球温暖化	3.6
地域環境	2.6
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・データセンターとしての性能、コスト、と環境配慮のバランスを考慮する。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・平均的な室内環境性能を維持する。	・維持管理、更新性、信頼性、を高いレベルで確保する。	・周囲の景観に調和するデザイン。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・標準レベルの負荷抑制と運用管理への支援。	・標準レベルの資源保護。	・必要最小限の配慮。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される